

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	情報処理演習 I	岡本 京子		1年次	演習	60時間
授業概要	キャリアコンサルタントとして、ハローワークや市内大学でキャリア指導を行ってきた経験から就職活動や就職後に必要なスキルを指導					
授業ねらい	就職・進学に不可欠なWordを使った文書等の作成を学び、コンピュータサービス技能評価試験の合格をめざす。					
授業内容						
1	Wordの概要					
2	手の位置、キーボード操作練習					
3	ローマ字入力とかな入力					
4	削除・挿入、変換、記号					
5	ひらがな短文入力練習					
6	ひらがな長文入力					
7	漢字かな交じり文入力、IMEパッドの操作(部首入力)					
8	文字入力演習問題					
9	文字入力演習問題					
10	文書の作成(ページレイアウト)					
11	文書の作成(文字のコピー・移動、配置をそろえる)					
12	文書の作成(文字の装飾)					
13	文書の作成(印刷)					
14	文書作成テスト					
15	文書作成テストFB					
16	表の作成(レイアウトの変更)					
17	表の作成(書式設定)					
18	表の作成(スタイルの適用)					
19	表の作成(段落罫線)					
20	表の作成テスト					
21	表の作成テストFB					
22	文書の編集(いろいろな書式の設定)					
23	文書の編集(段組み設定)					
24	文書の編集(ページ番号)					
25	文書の編集テスト					
26	文書の編集テストFB					
27	コンピュータサービス技能評価試験練習問題					
28	コンピュータサービス技能評価試験練習問題					
29	コンピュータサービス技能評価試験練習問題					
30	テスト対策					
参考資料 履修条件 成績評価	主教材:『よくわかるWord2013基礎』(FOM出版) 評価: 期末テスト9割(点数×0.9) + 項目ごとのテスト1割(平均点を10段階で評価して点数として加算)。 欠席1回で-5点(居眠りも同様)					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	情報処理演習 II	岡本 京子		2年次	講義	60時間
授業概要	キャリアコンサルタントとして、ハローワークや市内大学でキャリア指導を行ってきた経験から就職活動や就職後に必要なスキルを指導					
授業ねらい	就職・進学に不可欠なExcelを使った計算やグラフの作成を学び、コンピュータサービス技能評価試験の合格をめざす。					
授業内容						
1	Excelの基礎知識					
2	データの入力(文字列、数値、日付)					
3	データの入力(長い文字列、数式の入力と計算)					
4	データの入力(データの編集、範囲の選択、オートフィル、保存)					
5	データ入力実践問題、小テスト					
6	表の作成(罫線・塗りつぶし)					
7	表の作成(SUM関数)					
8	表の作成(AVERAGE関数)					
9	表の作成(表示形式・配置・フォント書式・列幅/高さの設定)					
10	表の作成(行の挿入・削除、非表示・再表示)					
11	表の作成実戦問題・小テスト					
12	数式の入力(関数の入力)					
13	数式の入力(MAX関数/MIN関数)					
14	数式の入力(COUNT関数/COUNTA関数)					
15	数式の入力(相対参照と絶対参照)					
16	数式の入力(複合参照)					
17	数式の入力実践問題・小テスト					
18	複数シートの操作(シート名の変更、作業グループの設定)					
19	複数シートの設定(シートの移動・コピー)					
20	複数シートの設定(シート間の集計)					
21	複数シートの設定実戦問題・小テスト					
22	表の印刷(ページレイアウト、用紙の設定)					
23	表の印刷(ヘッダーとフッターの設定)					
24	改ページプレビューの利用					
25	グラフの作成(グラフ機能の概要)					
26	グラフの作成(円グラフ)					
27	グラフの作成(縦棒グラフ)					
28	グラフの作成(おすすめグラフ)					
29	グラフの作成実戦問題・小テスト					
30	テスト対策					
参考資料 履修条件 成績評価	『よくわかるExcel2016基礎』(2016, 富士通エフ・オー・エム株式会社)					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	総合教育 I			1年次前期	講義	30時間
授業概要	企業側から求められる人材の育成やそのための様々な基礎知識を理解させ、早い段階から社会人に必要なスキルを学ばせる。					
授業ねらい	学生から社会人へと進むことにおける基礎知識を構築させる。 グループワークを中心に一般常識のある社会人としての基礎を構築させる。					
授業内容						
1	ガイダンス					
2	就職活動について 企業から求められる人材とは					
3	自己分析(競技)					
4	自己分析プレゼンテーション(競技)					
5	グループディスカッション①(競技)					
6	グループディスカッション②(競技)					
7	自己分析(就職)と履歴書の書き方					
8	面接の種類とポイント					
9	面接実技					
10	小テスト(履歴書、面接)					
11	プレゼンテーション①(社会情勢)					
12	プレゼンテーション②(時事情勢)					
13	プレゼンテーション③(社会情勢)					
14	プレゼンテーション④(社会情勢)					
15	総まとめ					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	出席状況、プレゼンテーションの内容、提出課題で評価する。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	総合教育Ⅱ			2年次前期	講義	30時間
授業概要	就職活動に対する内容理解を実際にあつた成功、失敗等を例としてあげながら講義する。					
授業ねらい	就職活動に必要な知識を学び、実際の活動で活かせるスキルを身に付ける。					
授業内容						
1	ガイダンス					
2	心構え・自己分析					
3	心構え・自己分析(自己PRの見つけ方、書き方)					
4	企業分析・業界研究(業種・職種について)					
5	企業分析・業界研究(就職ガイダンスについて)					
6	応募書類の書き方(エントリーシート)					
7	応募書類の書き方(履歴書)					
8	筆記試験対策 その1					
9	筆記試験対策 その2					
10	筆記試験対策 その3					
11	エントリーの仕方(検索方法、資料請求)					
12	エントリーの仕方(企業訪問等)					
13	OG、OBからのアドバイス(講義)					
14	OG、OBからのアドバイス(講義)					
15	OG、OBからのアドバイス(講義)					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	出席状況、授業態度、授業内提出課題で評価する。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	健康科学概論			2年次	講義	30時間
授業概要	健康づくりの基礎的知識、健康づくり運動の指導法などを科学的な角度から現場の経験を生かして指導する。					
授業ねらい	健康について理解し、運動を通して健康づくりを実践できる知識を身に付ける。					
授業内容						
1	ガイダンス(授業の流れ、内容説明)					
2	健康とは					
3	健康づくり施策(世界のあゆみ、日本のあゆみ)					
4	健康づくり施策(健康日本21、健康づくりの個別施策)					
5	健康管理(健康と体力、健康づくりの必要性)					
6	健康管理(高齢社会、介護予防)					
7	健康管理(メディカルチェック、生活習慣病の予防)					
8	運動基準と測定・評価(体力づくりから健康づくり、目的による測定・評価)					
9	運動基準と測定・評価(評価のための測定と分析・健康状態の測定と評価)					
10	運動基準と測定・評価(健康づくりとしての測定・評価、身体活動の決定、体力水準の決定法)					
11	運動基準と測定・評価(身体活動量と体力水準、肥満のメカニズムと評価・判定)					
12	健康と運動(運動強度とエネルギー、日常でできる運動のエネルギー)					
13	健康と運動(減量の方法)					
14	まとめ					
15	定期試験					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	教科書「スポーツ現場の応急処置」 出席、テスト					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	スポーツ医学			1年次	講義	30時間
授業概要	スポーツ医学の関係を熟知し、指導やトレーナーとして従事する際に、適切な処置を行うことができる知識を身に着ける。					
授業ねらい	身体をつくりを理解し、スポーツをするうえでどのような障害や病気があるのかを知り、その予防の仕方や対処の仕方を学ぶ。					
授業内容						
1	スポーツ外傷、スポーツ障害					
2	スポーツ外傷・障害後のトレーニングにおけるトレーナーの役割					
3	スポーツ外傷・障害後の各部位のトレーニング					
4	コンディショニングとは					
5	スポーツ選手のコンディショニング					
6	コンディショニングに影響する要因					
7	国内遠征や合宿前のチェック点					
8	海外遠征とスポーツ医学					
9	時差のスポーツ医学(時差ぼけの発症メカニズム、時差ぼけの症状と治療)					
10	スポーツと酒、煙草、コーヒー					
11	アルコール、煙草、カフェイン					
12	スポーツと酒、煙草、コーヒーサプリメント、薬物、ドーピング					
13	まとめ					
14	小テスト					
15	定期試験					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	試験、出席状況。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	スポーツ指導論			1年次	講義	30時間
授業概要	スポーツ指導に関わる知識や考察を深め、自分の理想の指導者像の獲得を目指す。					
授業ねらい	健康・体力・レクリエーション・クラブ活動のスポーツ指導にあたって、基本的な指導方法を養う。					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	コーチング理論					
3	スポーツ指導の意義					
4	トレーニング計画とその様式					
5	スポーツ指導の種類					
6	超回復と休息					
7	練習方法による分類					
8	パワーとスピード向上のトレーニング理論とプログラム					
9	スポーツ種目の特性に応じた段階的指導					
10	指導形態と適正人数					
11	指導形態					
12	適正な指導人数					
13	スポーツ指導の具体化					
14	全体計画					
15	指導計画作成の実際					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	テキストに基づき授業を展開する。 テキストと平常点を総合的に考えて評価する。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	救急処置法			1年次	講義	30時間
授業概要	現場に必要な基礎的な応急処置や疾患の種類、その対応を身に付けられるように指導する。					
授業ねらい	スポーツ現場における救急処置に関する基本的知識を知り、理解することで、実際の現場で対処できる基礎を養う。					
授業内容						
1	救急処置の基礎					
2	スポーツ外傷・障害					
3	解剖学①					
4	解剖学②					
5	救急処置の基本的知識					
6	皮膚に傷のないけがの処置					
7	RICE処置①					
8	RICE処置②					
9	皮膚などに傷のあるケガの処置					
10	特殊な外傷の救急処置①					
11	特殊な外傷の救急処置②					
12	特殊な外傷の救急処置③					
13	まとめ					
14	小テスト					
15	定期試験					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	教科書「スポーツ現場の応急処置」 出席、テスト					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	バイオメカニクス			2年次	講義	30時間
授業概要	バイオメカニクスの基本的知識に関する内容と、それらを競技実践(とくに野球)に活用できるような内容					
授業ねらい	バイオメカニクスの基本的知識を習得し、競技実践や指導に活用できるようにする					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	バイオメカニクスの基礎(筋肉の種類と構造、そのはたらき)					
3	バイオメカニクスの基礎(エネルギー供給、運動の指令・調節、身体の構造)					
4	バイオメカニクスの基礎(運動と力学法則)					
5	バイオメカニクスの実際(「立つ」動作の解析、重心の求め方)					
6	バイオメカニクスの実際(「歩く」動作の解析)					
7	バイオメカニクスの実際(「走る」動作の解析)					
8	バイオメカニクスの実際(「跳ぶ」動作の解析)					
9	バイオメカニクスの実際(野球の「投げる」動作の解析)①					
10	バイオメカニクスの実際(野球の「投げる」動作の解析)②					
11	バイオメカニクスの実際(野球の「打つ」動作の解析)①					
12	バイオメカニクスの実際(野球の「打つ」動作の解析)②					
13	バイオメカニクスの実際(「蹴る」動作の解析)					
14	バイオメカニクスの実際(「泳ぐ」動作の解析)					
15	定期試験					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ・主教材『スポーツ・バイオメカニクス』(杏林書店 2018) ・期末テストのほか、出席点、平常点などを加味して総合的に成績評価を行う。 					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	発育発達老化論			1年次	講義	30時間
授業概要	発育発達や老化について知識理解のある教員が、精神面や身体面での機能の高まりやそれに関わる環境健康についてを教授する。					
授業ねらい	発育発達や老化に関する知識を深めるとともに、生涯を通じて自他や社会の健康課題を解決していくための資質や能力を高める。					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	健康とその課題					
3	身体面における発育発達					
4	発育発達をささえる運動習慣					
5	発育発達をささえる休養・睡眠					
6	発育発達をささえる食生活					
7	喫煙の健康影響					
8	飲酒の健康影響					
9	薬物乱用の健康影響					
10	精神面における発育発達					
11	ストレス対処法					
12	ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方					
13	感染症とその予防					
14	性感染症・エイズとその予防					
15	まとめ					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	『学校保健ハンドブック第6次改訂』(教員養成系大学保健協議会、2016)					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	スポーツ生理学			2年次	講義	30時間
授業概要	運動に役立つ正しい知識と効果的な実践方法を習得させる。 具体的には、特に身体の構造に焦点をあて、効果的な運動学習や健康の保持増進へとつなげる。					
授業ねらい	将来、指導者となった際に活用したり、生涯スポーツへとつながる。					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	スポーツ生理学とは					
3	身体の構造①(骨格・関節, 筋肉)					
4	身体の構造②(神経系, 呼吸・循環)					
5	身体の機能①(骨格筋の機能, 筋収縮のエネルギーとその供給)					
6	身体の機能②(動作コントロールを行う神経系, 環境に対する働き)					
7	スポーツトレーニング					
8	トレーニングに伴う効果①(形態系, 筋・骨格系, 呼吸系)					
9	トレーニングに伴う効果②(循環系, 代謝・内分泌系)					
10	バイオメカニクスの基礎					
11	バイオメカニクスの実際					
12	筋力トレーニングの効果と原則及び条件					
13	トレーニング環境の整備とその活用について					
14	まとめ・定期試験対策					
15	定期試験					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	参考資料: 学校指定の教科書(スポーツ生理学)、資料は適宜配布する。 成績評価: 定期試験の成績、中間テスト、出席(5回の欠席で不可/遅刻は0.5回の欠席とする。)					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	スポーツ心理学			1年次	講義	30時間
授業概要	運動に役立つ正しい知識とスポーツに関する心理的効果を習得させる。 具体的には、心と体の結びつきや動機付けの方法、集団での在り方など実践的な知識を学習する。					
授業ねらい	将来、指導者となった際に活用したり、生涯スポーツへとつながる。					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	スポーツ心理学とは					
3	スポーツスキルの制御と学習					
4	運動学習の基礎理論					
5	スポーツの動機づけ					
6	スポーツと発達					
7	スポーツ集団の構造と機能					
8	スポーツマンの性格と態度					
9	スポーツにおける「あがり」					
10	スポーツカウンセリング					
11	コーチングの心理					
12	スポーツの心理的効果①					
13	スポーツの心理的効果②					
14	まとめ・定期試験対策					
15	定期試験					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	参考資料: 学校指定の教科書(スポーツ心理学)、資料は適宜配布する。 成績評価: 定期試験の成績、中間テスト、出席(5回の欠席で不可/遅刻は0.5回の欠席とする。)					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	スポーツ栄養学			1年次	講義	30時間
授業概要	運動やスポーツによって身体活動量が多い人に対して必要な栄養学的理論・知識・スキルを習得する。					
授業ねらい	栄養補給や食生活などの食に関わる全てについてマネジメントする実践能力を養う。					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	食べられる体作り					
3	ウォーミングアップは朝食から					
4	五大栄養素①					
5	五大栄養素②					
6	五大栄養素③					
7	五大栄養素④					
8	微量栄養素					
9	栄養素の消化吸収①					
10	栄養素の消化吸収②					
11	栄養素の消化吸収③					
12	栄養素の消化吸収④					
13	栄養素の消化吸収⑤					
14	まとめ・定期試験対策					
15	定期試験					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	参考資料:「スポーツ栄養学」 特に、予習を必要とする内容ではないと思われるので、受講後の復習と疑問に思う点の質問によって完全な理解を期待する。 定期試験、出席日数、ファイルの提出、授業態度を総合的に評価する。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	体力測定と評価	浦川 孝寿		1年次	講義	30時間
授業概要	社会人野球での指導経験がある教員による、人間の基礎である体力を測定する方法、それを活用する知識、実践を学ぶ講義。					
授業ねらい	人間の基礎体力についての知識を理解し、有酸素、無酸素運動での体力を測定し、そこでの結果について理解する。それを競技に生かせるよう指導する。					
授業内容						
1	体力の概念について					
2	体力の構成要因について					
3	一般的な体力テストの種目と測定法					
4	一般的な体力テストの実施方法について					
5	体力テストの実施1					
6	体力テストの実施2					
7	体力テストの実施3					
8	体力テストの実施4					
9	測定結果のまとめと評価					
10	形態測定1					
11	形態測定2					
12	形態測定3					
13	まとめ					
14	小テスト					
15	定期テスト					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	試験、出席状況					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
全学科	レジャースポーツ概論	浦川 孝寿		2年次	講義	30時間
授業概要	社会人野球部の監督経験のある教員が、日本におけるレジャースポーツやスポーツビジネスの産業がどのように発展してきたか、また現在においてはどのような動きがあるのかなど様々な視点から講義する。					
授業ねらい	スポーツをエンドユーザーに提供するための「サービス」の総体を把握するとともに、具体的な事例の中で今後の展望を学ぶ。サービスは民間に限らず行政サービスを含め、広い視野で理解する。					
授業内容						
1	オリエンテーション / スポーツ関連産業の総体					
2	スポーツマーケティングの基本的考え方					
3	スポーツイベントとメディア					
4	大規模大会の招致と波及効果					
5	プロスポーツとビジネス					
6	スタジアムビジネスの実際					
7	スポーツ用品・用具産業の動向					
8	フィットネスクラブの動向					
9	ボーリング場・テニスクラブ・テニススクールの動向					
10	ゴルフ場・ゴルフ練習場の動向					
11	山岳(スキー場など)・マリリゾートの動向					
12	求められる人材					
13	前期のまとめ					
14	課題レポート					
15	定期テスト					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	参考資料:「レジャー白書」(財)社会経済生産性本部 成績評価:出席重視、前期テスト+出席状況+受講態度などを総合評価					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	テーピング論・演習	浦川 孝寿		1年次	講義・演習	30時間
授業概要	社会人野球での指導経験のある教員が、実戦で活用できるテーピング知識を学び、現場で活用できる技術を習得するための講義。					
授業ねらい	テーピングの特性と正しい知識を身につけ、実践への活用を目標とする					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	テーピングとは					
3	実践① 指					
4	実践② 手首					
5	実践③ 肘関節					
6	実践④ 肩関節					
7	実践⑤ 腰部					
8	実践⑥ 足関節					
9	実践⑦ 膝関節					
10	ふくらはぎの肉離れ					
11	股関節のテーピング					
12	ハムストリングの肉離れ					
13	筋断裂の処置					
14	小テスト					
15	定期試験					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	ゲガがなく実践に参加できること 出席状況、授業への取り組む姿勢を総合的に評価する					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	スポーツビジネス概論	長 菌 明子		2年次	講義	30時間
授業概要	ソフトボール公式記録員として様々なチームを見てきた教員が、日本におけるスポーツビジネス産業がどのように発展してきたか、また現在においてはどのような動きがあるのかなど様々な視点からスポーツビジネスを講義します。					
授業ねらい	クラブサービス(ビジネス)に関する理解を深め、地域における官・民スポーツビジネスの可能性を探る。また、文部科学省が推進する総合型地域スポーツクラブの理解を深め、その展望を学びます。					
授業内容						
1	スポーツ振興基本計画と生涯スポーツの振興					
2	公共スポーツサービスの動向と実際 / 地域におけるスポーツクラブの基本的考え方					
3	諸外国における地域スポーツクラブ					
4	わが国における地域スポーツクラブの現状と課題					
5	総合型地域スポーツクラブの定義					
6	総合型地域スポーツクラブの組織化と運営手法					
7	総合型地域スポーツクラブの事例研究					
8	総合型地域スポーツクラブにおけるボランティア、指導者、マネジャーの役割					
9	NPO法人の基礎知識					
10	指定管理者制度の基礎知識					
11	後期(全体)まとめ					
12	課題レポート					
13	定期テスト対策まとめ					
14	後期定期テスト					
15	前期試験の講評 / スポーツ振興基本計画と生涯スポーツの振興					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	テキスト:「生涯スポーツ実践論」市村出版 :「総合型地域スポーツクラブ」Vol.1(財)日本スポーツクラブ協会他 参考資料:「スポーツクラブ白書」(財)日本スポーツクラブ協会 :「総合型地域スポーツクラブ」Vol.2～5(財)日本スポーツクラブ協会他 成績評価:後期試験+出席状況+受講態度などを総合的に評価					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	トレーニング理論と実際 I	浦川 孝寿		1年次	講義・演習	30時間
授業概要	社会人野球での指導経験を活用し、競技別の専門的知識の内容、その活用法・指導法を、現場での実例を交えながら講義する					
授業ねらい	専門的体力トレーニングが身体に及ぼす効果、各スポーツ種目における専門的体力トレーニングの在り方について学ぶ。					
授業内容						
1	スポーツ種目の運動特性と分類(球技)					
2	スポーツ種目の運動特性と分類(陸上)					
3	スポーツ種目の運動特性と分類(ニュースポーツ)					
4	競技力・運動課題の相互関係①					
5	競技力・運動課題の相互関係②					
6	スポーツ運動にみられる筋力と筋力養成法①					
7	スポーツ運動にみられる筋力と筋力養成法②					
8	スポーツ運動にみられる筋力と筋力養成法③					
9	筋力養成法の基礎					
10	スポーツ運動におけるスピードとスピード養成法①					
11	スポーツ運動におけるスピードとスピード養成法②					
12	スポーツ運動におけるスピードとスピード養成法③					
13	スピード養成法の基礎					
14	まとめ					
15	定期試験(レポート)					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	講義出席、定期レポートで評価					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	トレーニング理論と実際Ⅱ	浦川 孝寿		2年次	講義・演習	30時間
授業概要	社会人野球での指導経験を活用し、競技別のトレーニング計画の基礎、周期におけるトレーニング計画、その活用法・指導法を、現場での実例を交えながら講義する					
授業ねらい	トレーニング理論と実際Ⅰで学習した内容をもとに、実際に各種スポーツにおけるトレーニング計画を立案する能力を身に付ける。1日、1週間単位のマイクロ周期から、オリンピック周期までのトレーニング構成を学習し、実践的な計画ができるようになる。					
授業内容						
1	ガイダンス(授業内容、レポート作成についての説明)					
2	トレーニング学					
3	トレーニング学とトレーニング計画論Ⅰ					
4	トレーニング学とトレーニング計画論Ⅱ					
5	トレーニング計画論の基礎					
6	トレーニングにおける問題解決型思考・行動サイクルⅠ					
7	トレーニングにおける問題解決型思考・行動サイクルⅡ					
8	4年間のオリンピックサイクル					
9	4年間のオリンピックサイクルにおける計画の立案Ⅰ					
10	グループディスカッションⅠ					
11	4年間のオリンピックサイクルにおける計画の立案Ⅱ					
12	グループディスカッションⅡ					
13	発表					
14	まとめ					
15	定期試験(レポート)					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	講義出席、定期レポートで評価					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	ジョギング・ウォーキング I			1年次	演習	30時間
授業概要	生活で最も身近なジョギングやウォーキングを活用した健康づくりの基礎、計画・実践を指導する。					
授業ねらい	ジョギング・ウォーキングは健康保持・増進のための代表的なスポーツである。その運動効果を理解した上で指導者として必要な各年齢層にあった指導法を学ぶ。					
授業内容						
1	ガイダンス 授業計画について					
2	歩幅と適切なウォーキング強度の測定①					
3	歩幅と適切なウォーキング強度の測定②					
4	歩幅と適切なウォーキング強度の測定③					
5	歩幅と適切なウォーキング強度の測定④					
6	歩幅と適切なウォーキング強度の測定⑤					
7	ウォーキング実習①					
8	ウォーキング実習②					
9	ウォーキング実習③					
10	ウォーキングメニュー作成と実践①					
11	ウォーキングメニュー作成と実践②					
12	ウォーキングメニュー作成と実践③					
13	ウォーキングメニュー作成と実践④					
14	ウォーキングメニュー作成と実践⑤					
15	定期試験(レポート)					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	授業態度、レポート提出で判断する。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	ジョギング・ウォーキングⅡ			1年次	演習	30時間
授業概要	生活で最も身近なジョギングやウォーキングを活用した健康づくりの基礎、計画・実践を指導する。					
授業ねらい	ジョギング・ウォーキングの正しい知識理解をし、実践することでより内容の理解を深める。					
授業内容						
1	正しいウォーキングの理論と実践(ウォーキングが及ぼす身体活動の基礎知識を理解させる①)					
2	正しいウォーキングの理論と実践(ウォーキングが及ぼす身体活動の基礎知識を理解させる②)					
3	正しいウォーキングの理論と実践(健康とウォーキングについて理解させる①)					
4	正しいウォーキングの理論と実践(健康とウォーキングについて理解させる②)					
5	正しいウォーキングの理論と実践(ウォーキングを実践し体験する①)					
6	正しいウォーキングの理論と実践(ウォーキングを実践し体験する②)					
7	正しいジョギングの理解と実践(ジョギングが及ぼす身体活動の基礎知識を理解させる①)					
8	正しいジョギングの理解と実践(ジョギングが及ぼす身体活動の基礎知識を理解させる②)					
9	正しいジョギングの理解と実践(運動中のジョギングについて理解させる①)					
10	正しいジョギングの理解と実践(運動中のジョギングについて理解させる②)					
11	正しいジョギングの理解と実践(ジョギング前後の効果的なストレッチについて理解させる①)					
12	正しいジョギングの理解と実践(ジョギング前後の効果的なストレッチについて理解させる②)					
13	正しいジョギングの理解と実践(ジョギングを実践し体験する①)					
14	正しいジョギングの理解と実践(ジョギングを実践し体験する②)					
15	定期試験(レポート)					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	授業態度、レポート提出で判断する。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	ウェイトトレーニング演習 I	浦川 孝寿		1年次	講義・演習	30時間
授業概要	トレーニングジムでの実務経験を活用し、一般的トレーニングの知識から競技別の専門的知識の内容、その活用法・指導法を、現場での実例を交えながら講義する。					
授業ねらい	ウェイトトレーニングの基礎知識や指導法を学び、それを実践できるようになる。					
授業内容						
1	ウェイトトレーニングとは					
2	肩部、足部へのウェイトトレーニング理論					
3	肩部、足部へのウェイトトレーニング演習					
4	トレーニングマシンの使用方法とメリット・デメリット①					
5	トレーニングマシンの使用方法とメリット・デメリット②					
6	トレーニングマシンのウェイトトレーニング①					
7	トレーニングマシンのウェイトトレーニング②					
8	トレーニングマシンのウェイトトレーニング③					
9	フリーウェイトトレーニングの使用法とメリット・デメリット①					
10	フリーウェイトトレーニングの使用法とメリット・デメリット②					
11	フリーウェイトトレーニング①					
12	フリーウェイトトレーニング②					
13	フリーウェイトトレーニング③					
14	まとめ					
15	定期試験(レポート)					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	ウィダートレーニングバイブルを資料とし講義を進める。 出席3/4以上休んだ学生は、評価の対象外となる。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	ウェイトトレーニング演習Ⅱ	浦川 孝寿		1年次	講義・演習	30時間
授業概要	社会人野球での指導経験のある教員が、体の機能を理解し、トレーニングを科学的根拠に基づき理解させる。将来指導者となる人材を育成する。					
授業ねらい	トレーニングを行ったときに、体の構造や機能がどのように応答するかについて、トレーニング科学を学ぶ。各種トレーニングや競技特性に関する理解を深める。					
授業内容						
1	ガイダンス					
2	トレーニング科学とは					
3	機能解剖 運動学基礎					
4	機能解剖 骨格系					
5	機能解剖 筋機能					
6	運動生理学 神経機能					
7	運動生理学 筋機能					
8	運動生理学 呼吸機能					
9	運動生理学 循環機能					
10	ウェイトトレーニング ストレングストレーニング					
11	ウェイトトレーニング レジスタンストレーニング					
12	ウェイトトレーニング ベンチプレス					
13	ウェイトトレーニング スクワット					
14	ウェイトトレーニング パワークリーン					
15	まとめ テスト					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	公認スポーツ指導者テキストを使用。 授業態度、出席、定期テストで評価。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	スポーツトレーニング演習 I	浦川 孝寿		1年次	演習	60時間
授業概要	社会人野球での指導経験を生かし、トレーニングにおける基礎的な知識、年齢別、競技別のトレーニング計画やトレーニング法を学ぶ。					
授業ねらい	トレーニングにおける循環サイクル、スポーツパフォーマンス、目標、手段、方法、計画を実践できるようになる。					
授業内容						
1	ガイダンス					
2	スポーツトレーニング学とはなにか					
3	スポーツトレーニングにおける問題解決型思考循環サイクル					
4	スポーツ運動学構造					
5	トレーニング目標論①					
6	トレーニング目標論②					
7	トレーニング手段・方法論(筋力・パワートレーニングの原則原理)①					
8	トレーニング手段・方法論(筋力・パワートレーニングの原則原理)②					
9	トレーニング手段・方法論(筋力・パワートレーニングの原則原理)③					
10	トレーニング手段・方法論(筋力・パワートレーニング方法論)①					
11	トレーニング手段・方法論(筋力・パワートレーニング方法論)②					
12	トレーニング手段・方法論(筋力・パワートレーニング方法論)③					
13	筋力・パワートレーニング法実践①					
14	筋力・パワートレーニング法実践②					
15	トレーニング手段・方法論(スタミナトレーニングの原理原則と方法論)①					
16	トレーニング手段・方法論(スタミナトレーニングの原理原則と方法論)②					
17	トレーニング手段・方法論(スタミナトレーニングの原理原則と方法論)③					
18	トレーニング手段・方法論(スタミナトレーニングの原理原則と方法論)④					
19	スタミナトレーニング法実践①					
20	スタミナトレーニング法実践②					
21	トレーニング手段・方法論(技術及び戦術トレーニングの原理原則と方法論)①					
22	トレーニング手段・方法論(技術及び戦術トレーニングの原理原則と方法論)②					
23	トレーニング手段・方法論(技術及び戦術トレーニングの原理原則と方法論)③					
24	トレーニング手段・方法論(技術及び戦術トレーニングの原理原則と方法論)④					
25	トレーニングアセスメント①					
26	トレーニングアセスメント②					
27	性別及び年齢に応じたトレーニング論①					
28	性別及び年齢に応じたトレーニング論②					
29	まとめ					
30	レポート試験					
参考資料 履修条件 成績評価	各授業で参考プリントを配布する。 授業でのレポート、実技の態度で判断					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	スポーツトレーニング演習 I	浦川 孝寿		2年次	演習	60時間
授業概要	社会人野球での指導経験を生かし、トレーニングにおける基礎的な知識、年齢別、競技別のトレーニング計画やトレーニング法を学ぶ。					
授業ねらい	各種の運動領域における特性に応じたトレーニング学について学習する。					
授業内容						
1	ガイダンス					
2	個人種目におけるトレーニング学					
3	個人種目におけるトレーニングの実践					
4	バスケットボールにおけるトレーニング学①					
5	バスケットボールにおけるトレーニング学②					
6	バスケットボールにおけるトレーニングの実践①					
7	バスケットボールにおけるトレーニングの実践②					
8	バレーボールにおけるトレーニング学①					
9	バレーボールにおけるトレーニング学②					
10	バレーボールにおけるトレーニングの実践①					
11	バレーボールにおけるトレーニングの実践②					
12	サッカーにおけるトレーニング学①					
13	サッカーにおけるトレーニング学②					
14	サッカーにおけるトレーニングの実践①					
15	サッカーにおけるトレーニングの実践②					
16	テニスにおけるトレーニング学①					
17	テニスにおけるトレーニング学②					
18	テニスにおけるトレーニングの実践①					
19	テニスにおけるトレーニングの実践②					
20	野球におけるトレーニング学①					
21	野球におけるトレーニング学②					
22	野球におけるトレーニングの実践①					
23	野球におけるトレーニングの実践②					
24	ラグビーにおけるトレーニング学①					
25	ラグビーにおけるトレーニング学②					
26	ラグビーにおけるトレーニング実践①					
27	ラグビーにおけるトレーニング実践②					
28	総まとめ①					
29	総まとめ②					
30	レポート試験					
参考資料 履修条件 成績評価	各授業で参考プリントを配布する。 授業でのレポート、実技の態度で判断					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	ベースボールトレーニング演習Ⅰ	浦川 孝寿		1、2年次	演習	60時間
授業概要	社会人野球での指導経験のある教員が、野球の特性を理解し、必要なトレーニングの実践・指導を行う。また、指導者として活用できるスキルも身に付ける。					
授業ねらい	野球に必要なトレーニング法を学び、競技に生かしていけることを目的とする。					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	野球基礎トレーニング①					
3	野球基礎トレーニング②					
4	野球基礎トレーニング③					
5	野球基礎トレーニング④					
6	野球基礎トレーニング⑤					
7	野球基礎トレーニング⑥					
8	トレーニングの原理、原則①					
9	トレーニングの原理、原則②					
10	トレーニングの原理、原則③					
11	ウォーミングアップとクーリングダウン①					
12	ウォーミングアップとクーリングダウン②					
13	野球の実技トレーニング①					
14	野球の実技トレーニング②					
15	野球の実技トレーニング③					
16	野球の実技トレーニング④					
17	野球の実技トレーニング⑤					
18	筋力増加におけるメカニズム①					
19	筋力増加におけるメカニズム②					
20	筋力増加におけるメカニズム③					
21	筋力増加におけるメカニズム④					
22	休息時間の重要性①					
23	休息時間の重要性②					
24	休息時間の重要性③					
25	野球の実技トレーニング⑥					
26	野球の実技トレーニング⑦					
27	野球の実技トレーニング⑧					
28	まとめ①					
29	まとめ②					
30	レポート試験					
参考資料 履修条件 成績評価	各授業で参考プリントを配布する。 出席状況及び、授業でのレポート、実技の態度で判断					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	ベースボールトレーニング演習Ⅰ	浦川 孝寿		1, 2年次	演習	60時間
授業概要	社会人野球での指導経験のある教員が、野球の特性を理解し、必要なトレーニングの実践・指導を行う。また、指導者として活用できるスキルも身に付ける。					
授業ねらい	野球に必要なトレーニング法を学び、競技に生かしていけることを目的とする。					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	サーキットトレーニング①					
3	サーキットトレーニング②					
4	サーキットトレーニング③					
5	サーキットトレーニング④					
6	サーキットトレーニング⑤					
7	サーキットトレーニング⑥					
8	トレーニングの運動負荷条件①					
9	トレーニングの運動負荷条件②					
10	トレーニングの運動負荷条件③					
11	インターバルトレーニング①					
12	インターバルトレーニング②					
13	インターバルトレーニング③					
14	野球の実技トレーニング①					
15	野球の実技トレーニング②					
16	野球の実技トレーニング③					
17	野球の実技トレーニング④					
18	アイソメトリックトレーニング①					
19	アイソメトリックトレーニング②					
20	アイソメトリックトレーニング③					
21	アイソトニックトレーニング①					
22	アイソトニックトレーニング②					
23	アイソトニックトレーニング③					
24	野球の実技トレーニング⑤					
25	野球の実技トレーニング⑥					
26	野球の実技トレーニング⑦					
27	野球の実技トレーニング⑧					
28	まとめ①					
29	まとめ②					
30	レポート試験					
参考資料 履修条件 成績評価	各授業で参考プリントを配布する。 出席状況及び、授業でのレポート、実技の態度で判断					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	ベースボールトレーニング演習Ⅱ	浦川 孝寿		1・2年次	演習	60時間
授業概要	社会人野球での指導経験のある教員が、野球の技術を運動学的視点、精神的視点から分析し、将来において指導できる技術の習得を指導する。					
授業ねらい	野球においてよく使われる技術の概念の本質的内容を理解し、現場の運動指導のために必要な技術の動感論的な考え方を学ぶ。					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	野球における技術の概念 前半①					
3	野球における技術の概念 前半②					
4	野球における技術の概念 前半③					
5	野球における技術の概念 前半④					
6	野球における技術の概念 後半①					
7	野球における技術の概念 後半②					
8	野球における技術の概念 後半③					
9	野球における技術の概念 後半④					
10	競技力としての技術力 前半①					
11	競技力としての技術力 前半②					
12	競技力としての技術力 前半③					
13	競技力としての技術力 後半①					
14	競技力としての技術力 後半②					
15	競技力としての技術力 後半③					
16	技術習得をめぐる運動学的問題 ①					
17	技術習得をめぐる運動学的問題 ②					
18	技術習得をめぐる運動学的問題 ③					
19	技術習得をめぐる運動学的問題 ④					
20	球場における「できる」の問題点					
21	「できる」の本質的な特性					
22	「できる」と技術認識の関係					
23	技術の「かたち」ということ					
24	技術の体験構造①					
25	技術の体験構造②					
26	スポーツ技術の動感論的性格①					
27	スポーツ技術の動感論的性格②					
28	スポーツ技術の動感論的性格③					
29	まとめ					
30	レポート試験					
参考資料 履修条件 成績評価	参考資料をもとに講義を行う。 出席状況及び、定期試験で評価する。また、授業態度なども考慮する。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	ベースボールトレーニング演習Ⅱ	浦川 孝寿		1・2年次	演習	60時間
授業概要	社会人野球での指導経験のある教員が、野球の技術を運動学的視点、精神的視点から分析し、将来において指導できる技術の習得を指導する。					
授業ねらい	スポーツの実践現場で用いられている戦術理論について学習する。勝つための戦い方、実践例を通して、スポーツにおける戦術の構成について学習する。					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	スポーツにおける戦術のとらえ方①					
3	スポーツにおける戦術のとらえ方②					
4	野球における戦術のとらえ方①					
5	野球における戦術のとらえ方②					
6	野球における戦術の重要性①					
7	野球における戦術の重要性②					
8	戦術行為の前提条件①					
9	戦術行為の前提条件②					
10	戦術プランの立案①					
11	戦術プランの立案②					
12	戦術プランの立案③					
13	発表					
14	ディスカッション①					
15	ディスカッション②					
16	ディスカッション③					
17	ディスカッション④					
18	戦術トレーニングの一般的な原則①					
19	戦術トレーニングの一般的な原則②					
20	戦術の個体的発生と系統的発生①					
21	戦術の個体的発生と系統的発生②					
22	戦術の個体的発生と系統的発生③					
23	勝つための戦い方の実践例①					
24	勝つための戦い方の実践例②					
25	勝つための戦い方の実践例③					
26	勝つための戦い方の実践例④					
27	勝つための戦い方の実践例⑤					
28	総まとめ①					
29	総まとめ②					
30	レポート試験					
参考資料 履修条件 成績評価	参考資料をもとに講義を行う。 出席状況及び、定期試験で評価する。また、授業態度なども考慮する。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	ベースボール実技 I	浦川 孝寿		1・2年次	実技	60時間
授業概要	社会人野球での指導経験のある教員が、野球のポジション別の特性理解、動作理解を実践で活用できるように指導する。					
授業ねらい	野球の投手というポジションの特性と性質を理解し、実戦で活用できるようにする。					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	野球とは①					
3	野球とは②					
4	野球とは③					
5	投手の特性理解①					
6	投手の特性理解②					
7	投手の特性理解③					
8	投球の動作解析(上肢)①					
9	投球の動作解析(上肢)②					
10	投球の動作解析(上肢)③					
11	投球の動作解析(上肢)④					
12	投球の動作解析(下肢)①					
13	投球の動作解析(下肢)②					
14	投球の動作解析(下肢)③					
15	投球の動作解析(下肢)④					
16	自分の投球動作解析①					
17	自分の投球動作解析②					
18	自分の投球動作解析③					
19	自分の投球動作解析④					
20	投手においての守備の重要性					
21	投手においての守備の役割(打球処理)					
22	投手目線の配球論①					
23	投手目線の配球論②					
24	投手目線の配球論③					
25	投手に必要なトレーニング①					
26	投手に必要なトレーニング②					
27	投手に必要なトレーニング③					
28	投手に必要なトレーニング④					
29	まとめ①					
30	まとめ②					
参考資料 履修条件 成績評価	授業態度、授業内での質問事項による内容理解で評価。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	ベースボール実技 I	浦川 孝寿		1・2年次	実技	60時間
授業概要	社会人野球での指導経験のある教員が、野球のポジション別の特性理解、動作理解を実践で活用できるように指導する。					
授業ねらい	野球の野手というポジションの特性と性質を理解し、実戦で活用できるようにする。					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	内野手の特性理解①					
3	内野手の特性理解②					
4	外野手の特性理解①					
5	外野手の特性理解②					
6	内野手の補給動作解析①					
7	内野手の補給動作解析②					
8	内野手の補給動作解析③					
9	内野手の補給動作解析④					
10	自分の補給動作解析①					
11	自分の補給動作解析②					
12	自分の補給動作解析③					
13	自分の補給動作解析④					
14	打撃動作解析①					
15	打撃動作解析②					
16	打撃動作解析③					
17	打撃動作解析④					
18	自分の打撃動作解析①					
19	自分の打撃動作解析②					
20	自分の打撃動作解析③					
21	自分の打撃動作解析④					
22	打者目線の配球理論①					
23	打者目線の配球理論②					
24	打者目線の配球理論③					
25	打者目線の配球理論④					
26	走塁技術の解析①					
27	走塁技術の解析②					
28	走塁技術の解析③					
29	まとめ①					
30	まとめ②					
参考資料 履修条件 成績評価	授業態度、授業内での質問事項による内容理解で評価。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	ベースボール実技Ⅱ	浦川 孝寿		1・2年次	実技	60時間
授業概要	社会人野球での指導経験のある教員が、野球における戦術面、技術面の指導をし実践や指導現場で活用できる技術・指導法を伝える。					
授業ねらい	習得した技術を実践で活用できるようにする。					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	野球における攻撃(バントの活用)①					
3	野球における攻撃(バントの活用)②					
4	野球における攻撃(走塁の活用)①					
5	野球における攻撃(走塁の活用)②					
6	野球における攻撃(エンドランの活用)①					
7	野球における攻撃(エンドランの活用)②					
8	野球における攻撃(サインプレー)①					
9	野球における攻撃(サインプレー)②					
10	ケースを想定した打撃練習①					
11	ケースを想定した打撃練習②					
12	野球における守備(ボール回し)①					
13	野球における守備(ボール回し)②					
14	野球における守備(ランダウンプレー)①					
15	野球における守備(ランダウンプレー)②					
16	野球における守備(ダブルプレー)①					
17	野球における守備(ダブルプレー)②					
18	野球における守備(ダブルプレー)③					
19	野球における守備(ダブルプレー)④					
20	野球における守備(カットプレー)①					
21	野球における守備(カットプレー)②					
22	野球における守備(サインプレー)①					
23	野球における守備(サインプレー)②					
24	野球における守備(サインプレー)③					
25	野球における守備(サインプレー)④					
26	ケースを想定した守備練習①					
27	ケースを想定した守備練習②					
28	ケースを想定した守備練習③					
29	紅白戦①					
30	紅白戦②					
参考資料 履修条件 成績評価	授業態度、授業内での質問事項による内容理解で評価。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	ベースボール実技Ⅱ	浦川 孝寿		1・2年次	実技	60時間
授業概要	社会人野球での指導経験のある教員が、野球における戦術面、技術面の指導をし実践や指導現場で活用できる技術・指導法を伝える。					
授業ねらい	習得した技術を実践で活用できるようにする。					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	野球における攻撃(バントの活用)①					
3	野球における攻撃(バントの活用)②					
4	野球における攻撃(走塁の活用)①					
5	野球における攻撃(走塁の活用)②					
6	野球における攻撃(エンドランの活用)①					
7	野球における攻撃(エンドランの活用)②					
8	野球における攻撃(サインプレー)①					
9	野球における攻撃(サインプレー)②					
10	ケースを想定した打撃練習①					
11	ケースを想定した打撃練習②					
12	野球における守備(ボール回し)①					
13	野球における守備(ボール回し)②					
14	野球における守備(ランダウンプレー)①					
15	野球における守備(ランダウンプレー)②					
16	野球における守備(ダブルプレー)①					
17	野球における守備(ダブルプレー)②					
18	野球における守備(ダブルプレー)③					
19	野球における守備(ダブルプレー)④					
20	野球における守備(カットプレー)①					
21	野球における守備(カットプレー)②					
22	野球における守備(サインプレー)①					
23	野球における守備(サインプレー)②					
24	野球における守備(サインプレー)③					
25	野球における守備(サインプレー)④					
26	ケースを想定した守備練習①					
27	ケースを想定した守備練習②					
28	ケースを想定した守備練習③					
29	紅白戦①					
30	紅白戦②					
参考資料 履修条件 成績評価	授業態度、授業内での質問事項による内容理解で評価。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	サッカートレーニング演習Ⅰ	本田 和人		1・2年次	演習	60時間
授業概要	U-16九州代表の総監督であった指導経験者が、実戦で活用できるサッカーの特性と知識を伝える。また引退後に指導者として活用できるスキルを学ぶ。					
授業ねらい	サッカーの普及・育成を図るための基本的な知識・戦術を習得すること 指導者として試合分析・評価もできる人材を育成すること					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	サッカーとは ①					
3	サッカーとは ②					
4	基本編 キックの種類 ①					
5	基本編 キックの種類 ②					
6	基本編 トラップ ①					
7	基本編 トラップ ②					
8	基本編 ドリブル ①					
9	基本編 ドリブル ②					
10	基本編 ヘディング ①					
11	基本編 ヘディング ②					
12	対人編 1対1 ①					
13	対人編 1対1 ②					
14	対人編 2対2 4対2 ①					
15	対人編 2対2 4対2 ②					
16	パス編 インサイドキック ショート・ミドル ①					
17	パス編 インサイドキック ショート・ミドル ②					
18	パス編 インステップキック ミドル・ロング ①					
19	パス編 インステップキック ミドル・ロング ②					
20	パス編 パス&ゴール サポート・タイミング ①					
21	パス編 パス&ゴール サポート・タイミング ②					
22	パス編 ボールポゼッション ボール保持 ①					
23	パス編 ボールポゼッション ボール保持 ②					
24	パス編 ボールポゼッション 攻守の切替 ①					
25	パス編 ボールポゼッション 攻守の切替 ②					
26	ゲーム編 ミニゲーム ハーフコート 8対8 ①					
27	ゲーム編 ミニゲーム ハーフコート 8対8 ②					
28	実践編 試合 11対11 ①					
29	実践編 試合 11対11 ②					
30	まとめ					
参考資料 履修条件 成績評価	ゲガがなく実践に参加できること 出席状況、授業への取り組む姿勢を総合的に評価する					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	サッカートレーニング演習Ⅰ	本田 和人		1・2年次	演習	60時間
授業概要	U-16九州代表の総監督であった指導経験者が、実戦で活用できるサッカーの特性と知識を伝える。また引退後に指導者として活用できるスキルを学ぶ。					
授業ねらい	サッカーの普及・育成を図るための基本的な知識・戦術を習得すること 指導者として試合分析・評価もできる人材を育成すること					
授業内容						
1	フィジカルトレーニングについて ①					
2	フィジカルトレーニングについて ②					
3	フィジカル強化 瞬発系・持続系 ①					
4	フィジカル強化 瞬発系・持続系 ②					
5	ボディーシェイプ 視野の確保の大事さ ①					
6	ボディーシェイプ 視野の確保の大事さ ②					
7	OFF THE BALLの動き ①					
8	OFF THE BALLの動き ②					
9	ON THE BALLの動き ①					
10	ON THE BALLの動き ②					
11	ボールポジション サポート・視野の確保 ①					
12	ボールポジション サポート・視野の確保 ②					
13	ボール奪取 インターセプト・アプローチ ①					
14	ボール奪取 インターセプト・アプローチ ②					
15	シュート編 ポストシュート ①					
16	シュート編 ポストシュート ②					
17	シュート編 センタリングシュート ①					
18	シュート編 センタリングシュート ②					
19	シュート編 3人目の動き シュート ①					
20	シュート編 3人目の動き シュート ②					
21	戦術編 戦術理論 ①					
22	戦術編 戦術理論 ②					
23	戦術編 システム 4-4-2・4-3-3 ①					
24	戦術編 システム 4-4-2・4-3-3 ②					
25	戦術編 攻撃・守備 ①					
26	戦術編 攻撃・守備 ②					
27	アクティブラーニング チーム戦術の作成 ①					
28	アクティブラーニング チーム戦術の作成 ②					
29	試合 作成したチーム戦術で実践 ①					
30	まとめ					
参考資料 履修条件 成績評価	ゲガがなく実践に参加できること 出席状況、授業への取り組む姿勢を総合的に評価する					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	サッカートレーニング演習Ⅱ	本田 和人		1・2年次	演習	60時間
授業概要	U-16九州代表の総監督であった指導経験者が、実戦で活用できるサッカーの特性と知識を伝える。また引退後に指導者として活用できるスキルを学ぶ。					
授業ねらい	サッカーの基本的な技術と知識を身に付け個々の能力向上を目指す 将来指導者をを目指す者が指導現場で活かせる指導スキルを身に付ける					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	サッカーとは					
3	ON THE BALLとOFF THE BALL ①					
4	ON THE BALLとOFF THE BALL ②					
5	視野の確保 ボディーシェーブ ①					
6	視野の確保 ボディーシェーブ ②					
7	キックの種類 インサイド・インステップ・インフロント ①					
8	キックの種類 インサイド・インステップ・インフロント ②					
9	トラップ 足・腿・胸 ①					
10	トラップ 足・腿・胸 ②					
11	パス ショート・ミドル・ロング ①					
12	パス ショート・ミドル・ロング ②					
13	スクウェアーパス ①					
14	スクウェアーパス ②					
15	サポート タイミング・距離 ①					
16	サポート タイミング・距離 ②					
17	ポジション パスの正確性・サポートの重要性 ①					
18	ポジション パスの正確性・サポートの重要性 ②					
19	ボール奪取 個人スキル・グループ連携 ①					
20	ボール奪取 個人スキル・グループ連携 ②					
21	ミニゲーム 4対4 ①					
22	ミニゲーム 4対4 ②					
23	ハーフコートゲーム 8対8 ①					
24	ハーフコートゲーム 8対8 ②					
25	ハーフコートゲーム 8対8 ③					
26	試合 11対11 ①					
27	試合 11対11 ②					
28	試合 11対11 ③					
29	実践テスト					
30	まとめ					
参考資料 履修条件 成績評価	ゲガがなく実践に参加できること 出席状況、授業への取り組む姿勢を総合的に評価する					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	サッカートレーニング演習Ⅱ	本田 和人		1・2年次	演習	60時間
授業概要	U-16九州代表の総監督であった指導経験者が、実戦で活用できるサッカーの特性と知識を伝える。また引退後に指導者として活用できるスキルを学ぶ。					
授業ねらい	サッカーの基本的な技術と知識を身に付け個々の能力向上を目指す 将来指導者をを目指す者が指導現場で活かせる指導スキルを身に付ける					
授業内容						
1	攻撃編 サイド攻撃					
2	攻撃編 サイド攻撃					
3	攻撃編 中央突破 ①					
4	攻撃編 中央突破 ②					
5	戦術編 ポゼッション ①					
6	戦術編 ポゼッション ②					
7	守備編 ブロックによる守備 ①					
8	守備編 ブロックによる守備 ②					
9	戦術編 システム 4-4-2 ①					
10	戦術編 システム 4-4-2 ②					
11	戦術編 システム 4-3-3 ①					
12	戦術編 システム 4-3-3 ②					
13	戦術編 ラインコントロール ①					
14	戦術編 ラインコントロール ②					
15	攻撃編 ショートカウンター ①					
16	攻撃編 ショートカウンター ②					
17	攻撃編 パワープレイ ①					
18	攻撃編 パワープレイ ②					
19	実践編 ハーフコート 8対8 ①					
20	実践編 ハーフコート 8対8 ②					
21	実践編 ハーフコート 8対8 ③					
22	実践編 試合 11対11 ①					
23	実践編 試合 11対11 ②					
24	実践編 試合 11対11 ③					
25	試合 11対11 ①					
26	試合 11対11 ②					
27	実践編 各チーム戦術を考え試合をする 11対11 リーグ戦 ①					
28	実践編 各チーム戦術を考え試合をする 11対11 リーグ戦 ②					
29	実践編 各チーム戦術を考え試合をする 11対11 リーグ戦 ③					
30	まとめ					
参考資料 履修条件 成績評価	ゲガがなく実践に参加できること 出席状況、授業への取り組む姿勢を総合的に評価する					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	サッカー実技 I	本田 和人		1・2年次	実技	60時間
授業概要	U-16九州代表の総監督であった指導経験者が、実戦で活用できるサッカーの特性と知識を伝える。また引退後に指導者として活用できるスキルを学ぶ。					
授業ねらい	サッカーの特性と正しい知識を身に付け、実践への活用を目標とする 将来指導者を目指す者が指導現場で活かせる指導スキルを身に付ける					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	サッカーとは					
3	キック編 インサイド・トラップ ①					
4	キック編 インサイド・トラップ ②					
5	キック編 インステップ・アウトサイド ①					
6	キック編 インステップ・アウトサイド ②					
7	二人組 ショートパス インサイド編 ①					
8	二人組 ショートパス インサイド編 ②					
9	二人組 ロングパス インステップ・インフロント編 ①					
10	二人組 ロングパス インステップ・インフロント編 ②					
11	トラップ編 身体全体を使ったトラップの習得 ①					
12	トラップ編 身体全体を使ったトラップの習得 ②					
13	ヘディング編 ボールをしっかりとデコのポイントでとらえる ①					
14	ヘディング編 ボールをしっかりとデコのポイントでとらえる ②					
15	スクエアパスの実践 ①					
16	スクエアパスの実践 ②					
17	スクエアパスの実践 ③					
18	スクエアパスの実践 ④					
19	シュート編 ショート・ミドル・ロング距離を変えシュートする ①					
20	シュート編 ショート・ミドル・ロング距離を変えシュートする ②					
21	シュート編 ショート・ミドル・ロング距離を変えシュートする ③					
22	ミニゲーム 3対3 ①					
23	ミニゲーム 3対3 ②					
24	ハーフコートゲーム 8対8 ①					
25	ハーフコートゲーム 8対8 ①					
26	ハーフコートゲーム 8対8 ①					
27	試合 11対11 ①					
28	試合 11対11 ②					
29	試合 11対11 ③					
30	実践テスト					
参考資料 履修条件 成績評価	ゲガがなく実践に参加できること 出席状況、授業への取り組む姿勢を総合的に評価する					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	サッカー実技 I	本田 和人		1・2年次	実技	60時間
授業概要	U-16九州代表の総監督であった指導経験者が、実戦で活用できるサッカーの特性と知識を伝える。また引退後に指導者として活用できるスキルを学ぶ。					
授業ねらい	サッカーの特性と正しい知識を身に付け、実践への活用を目標とする 将来指導者を目指す者が指導現場で活かせる指導スキルを身に付ける					
授業内容						
1	攻撃編 1対1 ①					
2	攻撃編 1対1 ②					
3	攻撃編 2対1 ①					
4	攻撃編 2対1 ②					
5	攻撃編 2対2 ①					
6	攻撃編 2対2 ②					
7	攻撃編 3対2 ①					
8	攻撃編 3対2 ②					
9	攻撃編 4対2 ①					
10	攻撃編 4対2 ②					
11	守備編 1対1 ①					
12	守備編 1対1 ②					
13	守備編 2対1 ①					
14	守備編 2対1 ②					
15	守備編 2対2 ①					
16	守備編 2対2 ②					
17	守備編 3対2 ③					
18	守備編 3対2 ④					
19	守備編 4対2 ①					
20	守備編 4対2 ②					
21	攻撃のサポート 3人目の動き ①					
22	攻撃のサポート 3人目の動き ②					
23	守備のサポート チャレンジ&カバー ①					
24	守備のサポート チャレンジ&カバー ②					
25	ハーフコートゲーム 8対8 ①					
26	ハーフコートゲーム 8対8 ②					
27	試合 11対11 ①					
28	試合 11対11 ②					
29	試合 11対11 ③					
30	実践テスト					
参考資料 履修条件 成績評価	ゲガがなく実践に参加できること 出席状況、授業への取り組む姿勢を総合的に評価する					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	サッカー実技Ⅱ	本田 和人		1・2年次	実技	60時間
授業概要	U-16九州代表の総監督であった指導経験者が、実戦で活用できるサッカーの特性と知識を伝える。また引退後に指導者として活用できるスキルを学ぶ。					
授業ねらい	サッカーの特性と正しい知識を身に着け、実践への活用を目標とする 将来指導者を目指す者が指導現場で活かせる指導スキルを身に付ける					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	サッカーとは					
3	視野の確保 ボディーシェーブ ①					
4	視野の確保 ボディーシェーブ ②					
5	ボールコントロールからパス、シュート ①					
6	ボールコントロールからパス、シュート ②					
7	ボール奪取 対人プレイ ①					
8	ボール奪取 対人プレイ ②					
9	ボールの奪い方 2対1 ①					
10	ボールの奪い方 2対1 ②					
11	守備のチャレンジカバー 数的優位 ①					
12	守備のチャレンジカバー 数的優位 ②					
13	攻撃での有的優位 3人目の動き出し ①					
14	攻撃での有的優位 3人目の動き出し ②					
15	シュート練習 ①					
16	シュート練習 ②					
17	クロスボールからのシュート ①					
18	クロスボールからのシュート ②					
19	クロスボールからの攻撃 ①					
20	クロスボールからの攻撃 ②					
21	ミニゲーム 4対4 ①					
22	ミニゲーム 4対4 ②					
23	ミニゲーム 4対4 ③					
24	ハーフコートゲーム 8対8 ①					
25	ハーフコートゲーム 8対8 ②					
26	ハーフコートゲーム 8対8 ③					
27	試合 11対11 ①					
28	試合 11対11 ②					
29	試合 11対11 ③					
30	実践テスト					
参考資料 履修条件 成績評価	ゲガがなく実践に参加できること 出席状況、授業への取り組む姿勢を総合的に評価する					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	サッカー実技Ⅱ	本田 和人		1・2年次	実技	60時間
授業概要	U-16九州代表の総監督であった指導経験者が、実戦で活用できるサッカーの特性と知識を伝える。また引退後に指導者として活用できるスキルを学ぶ。					
授業ねらい	サッカーの特性と正しい知識を身に着け、実践への活用を目標とする 将来指導者を目指す者が指導現場で活かせる指導スキルを身に付ける					
授業内容						
1	戦術編 サイド攻撃 ①					
2	戦術編 サイド攻撃 ②					
3	戦術編 中央突破 ①					
4	戦術編 中央突破 ②					
5	戦術編 ポゼッション ①					
6	戦術編 ポゼッション ②					
7	戦術編 ブロックによる守備 ①					
8	戦術編 ブロックによる守備 ②					
9	戦術編 システム 4-4-2 ①					
10	戦術編 システム 4-4-2 ②					
11	戦術編 システム 4-3-3 ①					
12	戦術編 システム 4-3-3 ②					
13	戦術編 ラインコントロール ①					
14	戦術編 ラインコントロール ②					
15	戦術編 ショートカウンター ①					
16	戦術編 ショートカウンター ②					
17	戦術編 パワープレイ ①					
18	戦術編 パワープレイ ②					
19	実践編 ハーフコート 8対8 ①					
20	実践編 ハーフコート 8対8 ②					
21	実践編 ハーフコート 8対8 ③					
22	実践編 試合 11対11 ①					
23	実践編 試合 11対11 ②					
24	実践編 試合 11対11 ③					
25	実践編 各チーム戦術を考え試合をする 11対11 リーグ戦 ①					
26	実践編 各チーム戦術を考え試合をする 11対11 リーグ戦 ②					
27	実践編 各チーム戦術を考え試合をする 11対11 リーグ戦 ③					
28	実践編 各チーム戦術を考え試合をする 11対11 リーグ戦 ④					
29	総まとめ					
30	実践テスト					
参考資料 履修条件 成績評価	ゲガがなく実践に参加できること 出席状況、授業への取り組む姿勢を総合的に評価する					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	第一種スポーツ演習	本田 和人		1・2年次	演習	60時間
授業概要	アスレティックトレーナーの視点からのスポーツの外傷、傷害に対する知識を習得し、現場でトレーナーとしての知識を生かせるよう指導する。					
授業ねらい	スポーツ外傷・傷害に対する基本的に知識を理解する。					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	アスレティックリハビリテーションとは					
3	スポーツ外傷 ①					
4	スポーツ外傷 ②					
5	スポーツ外傷 ③					
6	スポーツ外傷 ④					
7	アスレティックリハビリテーションの評価 ①					
8	アスレティックリハビリテーションの評価 ②					
9	アスレティックリハビリテーションの評価 ③					
10	アスレティックリハビリテーションの評価 ④					
11	リハビリテーションのプログラム ①					
12	リハビリテーションのプログラム ②					
13	リハビリテーションのプログラム ③					
14	リハビリテーションのプログラム ④					
15	リハビリテーションの運動療法 ①					
16	リハビリテーションの運動療法 ②					
17	リハビリテーションの運動療法 ③					
18	リハビリテーションの運動療法 ④					
19	リハビリテーションの運動療法 ⑤					
20	アスレティックリハビリテーションの実際 ①					
21	アスレティックリハビリテーションの実際 ②					
22	アスレティックリハビリテーションの実際 ③					
23	アスレティックリハビリテーションの実際 ④					
24	アスレティックリハビリテーションの実際 ⑤					
25	スポーツ外傷・傷害予防 ①					
26	スポーツ外傷・傷害予防 ②					
27	スポーツ外傷・傷害予防 ③					
28	スポーツ外傷・傷害予防 ④					
29	スポーツ外傷・傷害予防 ⑤					
30	総まとめ					
参考資料 履修条件 成績評価	内容理解、授業出席で判断する。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	第一種スポーツ演習	本田 和人		1・2年次	演習	60時間
授業概要	アスレティックトレーナーの視点からのスポーツの外傷、傷害に対する知識を習得し、現場でトレーナーとしての知識を生かせるよう指導する。					
授業ねらい	競技力向上、傷害予防のコンディショニングを理解する。					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	コンディショニングの要素 ①					
3	コンディショニングの要素 ②					
4	コンディショニングの要素 ③					
5	疲労回復を目的としたコンディショニング(スポーツマッサージ①)					
6	疲労回復を目的としたコンディショニング(スポーツマッサージ②)					
7	疲労回復を目的としたコンディショニング(スポーツマッサージ③)					
8	疲労回復を目的としたコンディショニング(スポーツマッサージ④)					
9	疲労回復を目的としたコンディショニング(スポーツマッサージ⑤)					
10	疲労回復を目的としたコンディショニング(スポーツマッサージ⑥)					
11	パフォーマンス向上を目的としたコンディショニング(スポーツマッサージ①)					
12	パフォーマンス向上を目的としたコンディショニング(スポーツマッサージ②)					
13	パフォーマンス向上を目的としたコンディショニング(スポーツマッサージ③)					
14	パフォーマンス向上を目的としたコンディショニング(スポーツマッサージ④)					
15	パフォーマンス向上を目的としたコンディショニング(スポーツマッサージ⑤)					
16	パフォーマンス向上を目的としたコンディショニング(スポーツマッサージ⑥)					
17	傷害予防を目的としたコンディショニング(ストレッチング①)					
18	傷害予防を目的としたコンディショニング(ストレッチング②)					
19	傷害予防を目的としたコンディショニング(ストレッチング③)					
20	傷害予防を目的としたコンディショニング(ストレッチング④)					
21	傷害予防を目的としたコンディショニング(ストレッチング⑤)					
22	傷害予防を目的としたコンディショニング(ストレッチング⑥)					
23	パフォーマンス向上を目的としたコンディショニング(ストレッチング①)					
24	パフォーマンス向上を目的としたコンディショニング(ストレッチング②)					
25	パフォーマンス向上を目的としたコンディショニング(ストレッチング③)					
26	パフォーマンス向上を目的としたコンディショニング(ストレッチング④)					
27	パフォーマンス向上を目的としたコンディショニング(ストレッチング⑤)					
28	パフォーマンス向上を目的としたコンディショニング(ストレッチング⑥)					
29	ウォーミングアップとクーリングダウン ①					
30	ウォーミングアップとクーリングダウン ②					
参考資料 履修条件 成績評価	内容理解、授業出席で判断する。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	第二種スポーツ演習	本田 和人		1・2年次	演習	60時間
授業概要	U-16九州代表の総監督であった指導経験者が、各競技の特性と知識を演習をしながら伝えていく					
授業ねらい	体力とは何かを理解し、各競技レベルの捉え方を学び実践に生かせるようになる。					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	体力の捉え方 ①					
3	体力の捉え方 ②					
4	体力の捉え方 ③					
5	子どもの体力 ①					
6	子どもの体力 ②					
7	子どもの体力 ③					
8	大人の体力 ①					
9	大人の体力 ②					
10	大人の体力 ③					
11	形態的特性から見た体力 ①					
12	形態的特性から見た体力 ②					
13	形態的特性から見た体力 ③					
14	エネルギー特性から見た体力 ①					
15	エネルギー特性から見た体力 ②					
16	エネルギー特性から見た体力 ③					
17	筋力とパワー ①					
18	筋力とパワー ②					
19	筋力とパワー ③					
20	筋力とパワー ④					
21	全身持久力と筋持久力 ①					
22	全身持久力と筋持久力 ②					
23	全身持久力と筋持久力 ③					
24	全身持久力と筋持久力 ④					
25	俊敏性とバランス ①					
26	俊敏性とバランス ②					
27	俊敏性とバランス ③					
28	視覚と運動感覚 ①					
29	視覚と運動感覚 ②					
30	視覚と運動感覚 ③					
参考資料 履修条件 成績評価	内容理解、授業出席で判断する。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	第二種スポーツ演習	本田 和人		1・2年次	演習	60時間
授業概要	U-16九州代表の総監督であった指導経験者が、各競技の特性と知識を演習をしながら伝えていく					
授業ねらい	体力とは何かを理解し、各競技レベルの捉え方を学び実践に生かせるようになる。					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	運動学 ①					
3	運動学 ②					
4	運動学 ③					
5	運動学 ④					
6	運動学 ⑤					
7	運動の形成 ①					
8	運動の形成 ②					
9	運動の形成 ③					
10	運動の形成 ④					
11	動きの質 ①					
12	動きの質 ②					
13	動きの質 ③					
14	運動の発達 ①					
15	運動の発達 ②					
16	運動の発達 ③					
17	運動の発達 ④					
18	運動の発達 ⑤					
19	技と身体 ①					
20	技と身体 ②					
21	技と身体 ③					
22	技と身体 ④					
23	技と身体 ⑤					
24	創発と促発 ①					
25	創発と促発 ②					
26	創発と促発 ③					
27	運動指導における運動学的アプローチ ①					
28	運動指導における運動学的アプローチ ②					
29	運動指導における運動学的アプローチ ③					
30	まとめ					
参考資料 履修条件 成績評価	内容理解、授業出席で判断する。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	第三種スポーツ演習	本田 和人		1・2年次	演習	60時間
授業概要	U-16九州代表の総監督であった指導経験者が、各競技の特性と知識を演習をしながら伝えていく					
授業ねらい	幼児の教育、発達についての理解					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	基本動作の指示と指導法Ⅰ ①					
3	基本動作の指示と指導法Ⅰ ②					
4	基本動作の指示と指導法Ⅰ ③					
5	基本動作の指示と指導法Ⅰ ④					
6	基本動作の指示と指導法Ⅱ ①					
7	基本動作の指示と指導法Ⅱ ②					
8	基本動作の指示と指導法Ⅱ ③					
9	基本動作の指示と指導法Ⅱ ④					
10	運動プログラムの作成 ①					
11	運動プログラムの作成 ②					
12	運動プログラムの作成 ③					
13	運動プログラムの作成 ④					
14	運動プログラムの作成 ⑤					
15	運動プログラムの作成 ⑥					
16	運動プログラムの作成 ⑦					
17	現代の子どもと昔の子どもの違い ①					
18	現代の子どもと昔の子どもの違い ②					
19	現代の子どもと昔の子どもの違い ③					
20	現代の子どもと昔の子どもの違い ④					
21	幼児を取り巻く病理的状況 ①					
22	幼児を取り巻く病理的状況 ②					
23	幼児を取り巻く病理的状況 ③					
24	幼児を取り巻く病理的状況 ④					
25	幼児体育検定試験集中講義 ①					
26	幼児体育検定試験集中講義 ②					
27	幼児体育検定試験集中講義 ③					
28	幼児体育検定試験集中講義 ④					
29	幼児体育検定試験集中講義 ⑤					
30	まとめ					
参考資料 履修条件 成績評価	幼児体育検定2級の指導教本での講義・演習とする。 出席3/4以上休んだ学生は、評価の対象外とする。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	第三種スポーツ演習	本田 和人		1・2年次	演習	60時間
授業概要	U-16九州代表の総監督であった指導経験者が、各競技の特性と知識を演習をしながら伝えていく					
授業ねらい	幼児の教育、発達についての理解					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	幼児の発達の様相Ⅰ ①					
3	幼児の発達の様相Ⅰ ②					
4	幼児の発達の様相Ⅰ ③					
5	幼児の発達の様相Ⅰ ④					
6	幼児の発達の様相Ⅱ ①					
7	幼児の発達の様相Ⅱ ②					
8	幼児の発達の様相Ⅱ ③					
9	幼児の発達の様相Ⅱ ④					
10	ダンス演習 ①					
11	ダンス演習 ②					
12	ダンス演習 ③					
13	ダンス演習 ④					
14	ダンス演習 ⑤					
15	ダンス演習 ⑥					
16	ダンス演習 ⑦					
17	幼児の能力の個性差 ①					
18	幼児の能力の個性差 ②					
19	幼児の能力の個性差 ③					
20	幼児の能力の個性差 ④					
21	マット運動と跳び箱の補助 ①					
22	マット運動と跳び箱の補助 ②					
23	マット運動と跳び箱の補助 ③					
24	マット運動と跳び箱の補助 ④					
25	マット運動と跳び箱の補助 ⑤					
26	マット運動と跳び箱の補助 ⑥					
27	マット運動と跳び箱の補助 ⑦					
28	各運動の補助法 ①					
29	各運動の補助法 ②					
30	まとめ					
参考資料 履修条件 成績評価	幼児体育検定2級の指導教本での講義・演習とする。 出席3/4以上休んだ学生は、評価の対象外とする。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	第四種スポーツ演習	本田 和人		1・2年次	演習	60時間
授業概要	運動全般の指導経験のある教員が、健康づくりに必要なエアロビックエクササイズの基本から技術指導まで、インストラクターに必要なスキルを身に付ける。					
授業ねらい	エアロビックダンスエクササイズの基本、応用、指導技術、理論などを身に付ける。					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	エアロビクスの歴史、正しい姿勢の認識、クラス体験 ①					
3	エアロビクスの歴史、正しい姿勢の認識、クラス体験 ②					
4	エアロビクスの歴史、正しい姿勢の認識、クラス体験 ③					
5	スキルアップとクラス体験 ①					
6	スキルアップとクラス体験 ②					
7	スキルアップとクラス体験 ③					
8	ウォーミングアップ理論とキューイング ①					
9	ウォーミングアップ理論とキューイング ②					
10	ウォーミングアップ理論とキューイング ③					
11	サーキレーション振り写し ①					
12	サーキレーション振り写し ②					
13	サーキレーション課題発表 ①					
14	サーキレーション課題発表 ②					
15	サーキレーション課題発表 ③					
16	サーキレーション課題発表 ④					
17	ストレッチングの原則と種類 ①					
18	ストレッチングの原則と種類 ②					
19	ストレッチングの原則と種類 ③					
20	ストレッチングの原則と種類 ④					
21	ストレッチング振り写し ①					
22	ストレッチング振り写し ②					
23	キューイングの発表 ①					
24	キューイングの発表 ②					
25	ウォーミングアップの課題発表 ①					
26	ウォーミングアップの課題発表 ②					
27	ウォーミングアップ発表 ①					
28	ウォーミングアップ発表 ②					
29	プログラム構成法					
30	まとめ					
参考資料 履修条件 成績評価	新エアロビックダンスエクササイズの実技指導を使用。 授業に参加が基本、遅刻3は欠席とみなし欠席者はレポート提出を伴う出席、授業態度、実技テスト等で評価する。 毎回の課題をきちんとマスターするには練習あるのみです。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
競技スポーツ科	第四種スポーツ演習	本田 和人		1・2年次	演習	60時間
授業概要	運動全般の指導経験のある教員が、健康づくりに必要なエアロビックエクササイズの基本から技術指導まで、インストラクターに必要なスキルを身に付ける。					
授業ねらい	エアロビックダンスエクササイズの基本、応用、指導技術、理論などを身に付ける。					
授業内容						
1	オリエンテーション					
2	運動強度の変換について、ドリル練習(Aウォーキング) ①					
3	運動強度の変換について、ドリル練習(Aウォーキング) ②					
4	運動強度の変換について ドリル練習(Bステップタッチ) ①					
5	運動強度の変換について ドリル練習(Bステップタッチ) ②					
6	AとBの組み合わせ ①					
7	AとBの組み合わせ ②					
8	AとBの組み合わせ発表 ①					
9	AとBの組み合わせ発表 ②					
10	AとBの組み合わせ発表 ③					
11	AとBの組み合わせ課題発表 ①					
12	AとBの組み合わせ課題発表 ②					
13	AとBの組み合わせ課題発表 ③					
14	その他の動きとバリエーション ①					
15	その他の動きとバリエーション ②					
16	15分間のメインパートプログラム ①					
17	15分間のメインパートプログラム ②					
18	15分間のメインパート課題発表 ①					
19	15分間のメインパート課題発表 ②					
20	15分間のメインパート課題発表 ③					
21	メインパート発表 ①					
22	メインパート発表 ②					
23	メインパート発表 ③					
24	筋コンディショニングセミナー ①					
25	筋コンディショニングセミナー ②					
26	筋コンディショニング発表 ①					
27	筋コンディショニング発表 ②					
28	ウォーミングアップとメインパート					
29	ウォーミングアップとメインパート発表					
30	まとめ					
参考資料 履修条件 成績評価	新エアロビックダンスエクササイズの実技指導を使用。 授業に参加が基本、遅刻3は欠席とみなし欠席者はレポート提出を伴う出席、授業態度、実技テスト等で評価する。 毎回の課題をきちんとマスターするには練習あるのみです。					